

## 自己点検・自己評価項目

日本語教育機関名：せいがん日本語学校

A:達成 B:一部達成 C:未達成、改善が必要

1. 教育理念・目標		
1-1	理念 日本語教育を通じて、世界の学生が日本語及び日本文化の理解を深め、日本と世界各国との交流の礎を築く。	
1-2	教育目標 多様な国々の学生で構成された少人数クラスで最適期間での各人の能力を伸ばし、日本での仕事や生活に必要な日本語及び日本文化の習得を目指す。	
1-3	育成する人材像 ①日本語を生かして日本をはじめ世界の企業で活躍ができる人材、②日本語を生かしてと世界各国の文化の橋渡し役になれる人材、③日本語を勉強して日本の高等教育を受けるに適した資質を持つ人材	
1-4	理念、教育目標、育成する人材像で教育が行われている。	A

2. 学校運営		
2-1	日本語教育機関の告示基準に適合している。	A
2-2	運営方針や事業計画が明確化している。	A
2-3	意志決定が組織的・効率的に行われている。	A
2-4	就業規則や賃金規程が定めている。	A
2-5	危機管理体制が整備されている。	A
2-6	学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っている。	A
2-7	授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。	A

3. 教育活動・学習成果		
3-1	カリキュラムは体系的に編成している。	A
3-2	授業記録簿及び出席簿を正確に記録・管理している。	A
3-3	成績評価や進級、修了の判定基準が明確になっている。	A
3-4	理解度・到達度の確認を学期中に適切に行っている。	A
3-5	成績判定結果を学生に伝えている。	A

3-6	授業評価を定期的に行っている。	A
3-7	教育の質を向上するための取り組みが確立されている。	A
3-8	教育の目的・内容・方法が教員間で共有している。	A
3-9	教職員の評価を適切に行っている。	A
3-10	日本留学試験、日本語能力試験などの結果を把握している。	A
3-11	修了後の進路を把握している。	A

4. 学生支援		
4-1	学生の学習や進路に対する相談・支援体制が整備されている。	A
4-2	日本社会を理解し、適応するための取り組みを行っている。	A
4-3	学生全員が国民健康保険に加入している。	A
4-4	新入生と入学して1年経った学生に健康診断を行っている。	A
4-5	火災・地震・台風等の災害発生時の避難方法、場所、経路を周知させている。	A
4-6	疾病や傷害があった場合の相談体制を整備している。	A
4-7	アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	A
4-8	住居支援を行っている。	A
4-9	入国管理局により認められた申請等取次者を配置している。	A
4-10	入管法上の留意点について学生へ伝達、指導を定期的に行っている。	A

5. 教育環境		
5-1	教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。	A
5-2	授業時間外に自習できる部屋を確保している。	A
5-3	教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	A
5-4	教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	A
5-5	廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	A
5-6	法令上必要な設備等を備えている。	A

6. 学生の募集		
6-1	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	A
6-2	正確な学校情報及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	A

6-3	海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	A
6-4	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	A
6-5	関係諸法令に基づいた学費返還規定を定めている。	A

7. 財務		
7-1	財務状況は、中長期的に安定している。	A
7-2	予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	A
7-3	適正な会計監査が実施されている。	A

8. 法令遵守		
8-1	法令、設置基準等の遵守と適切な運営をしている。	A
8-2	個人情報保護のための対策をとっている。	A
8-3	関係官庁への届出、報告を遅滞なく行っている。	A

9. 地域貢献・社会貢献		
9-1	学校の教育資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	A
9-2	学生ボランティア活動への支援を行っている。	A